

まきよう通信

2015.
春号

Kobe Pharmaceutical University Press Vol.160

[特集] “人”が育てる未来の薬剤師

臨床スキルを磨く 実務実習事前教育

新理事長就任のお知らせ

まきよう便り 北河 修治 学長

海外(ボストン)薬学研修報告

研究室探訪

臨床薬学研究室 / 薬剤学研究室

神薬ごよみ 〈MANABI白書・Event Report・Information〉

OKAMOTO MAP

「薬剤師」を鍛える 生涯研修支援が充実 エクステンションセンター

表紙探訪: 食堂 HARUCA



神戸薬科大学

KOBE PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

新理事長就任のお知らせ

2015年3月18日(水)に開催された理事会・評議員会で、新理事長に理事の宮武 健次郎(みやたけ けんじろう)氏(77歳)が選出されました。任期は、前任の雀部 昌吾 理事長の任期を引き継ぎ2015年4月1日から2018年5月31日までです。

ご挨拶

このたび、雀部 昌吾 理事長の後を受けて、4月1日付で学校法人神戸薬科大学の理事長に選任されました宮武 健次郎です。

私は、昭和36年大日本製薬株式会社に入社後、営業一筋に約38年従事し、平成11年代表取締役社長に就任し、平成17年に大日本住友製薬株式会社と社名変更した後、平成20年に代表取締役会長に就任しました。そして、相談役として平成25年まで在職しました。

製薬会社における営業活動と平成11年からの製薬会社の経営を通して身につけたモットーは、「人との出会いを大事にする」ということです。今まで、数えきれない人との出会いから、多くの貴重なことを学んできました。これからも大事にしたいと思っています。

さて、私には学校法人の理事長はまったく未知の分野ですが、理事長として、学生が快適に学生生活を送るために、教育環境の整備に努めることが何より重要であると考えます。そして、大学が果たすべき使命について私なりの考えを2点挙げますと、まず、大学は優秀な人材を輩出する使命を持っているということです。神戸薬科大学は今まで16,907人の人材(卒業生)を輩出してきましたが、臨床教育重視を目的とした薬学教育6年制となった今日、ますます優秀な人材(卒業生)を輩出する責務があると思っています。次に、神戸薬科大学が社会に貢献できる大学であることです。そのためには、神戸薬科大学の特長のひとつである「生涯教育」を更に充実させ、「地域との連携」に積極的に取り組んでいくべきと考えています。

薬系大学を取り巻く環境は、年々厳しさを増し、その変化に迅速に対応することが必要とされています。少子化に伴う人口の減少はいままでもなく、入学定員厳守、大学教育の充実、薬剤師国家試験の合格率等、多くの課題が山積みです。

私は、微力ではありますが神戸薬科大学が魅力ある大学として発展するよう尽力いたします。学校法人の役員、教職員、そして、保護者の皆さまのご理解とご支援をお願いする次第です。



理事長 宮武 健次郎

Vol.160 contents

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1 新理事長就任のお知らせ | 14 「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業について |
| 2 特集 臨床スキルを磨く実務実習事前教育 | 15 OKAMOTO MAP |
| 5 海外(ボストン)薬学研修報告 | 17 部活動レポート 陸上部/バドミントン部 |
| 7 研究室探訪 臨床薬学研究室/薬剤学研究室 | 19 大学生活ニュース 「2014年度卒業生の就職状況」 |
| 9 神薬ごよみ
〈MANABI白書〉〈Event Report〉〈Information〉 | 21 「薬剤師」を鍛える エクステンションセンター |
| | 22 ききょう便り 北河 修治 学長 / 表紙探訪 食堂HARUCA |

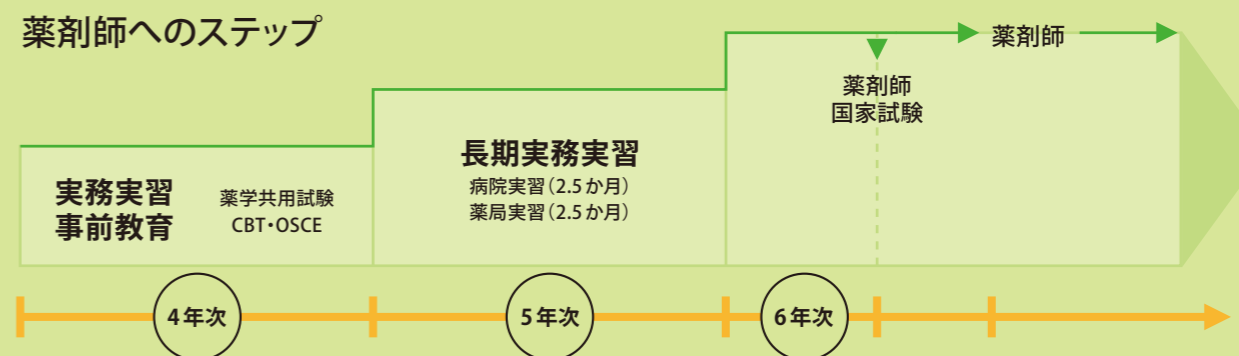
[特集] “人”が育てる未来の薬剤師

臨床スキルを磨く 実務実習事前教育

6年制の薬学教育では、薬剤師業務に関する長期の実務実習が必須です。実務実習は、学内での実務実習事前教育、学外での病院実習・薬局実習で構成されています。病院・薬局での長期実務実習は、薬剤師の指導、監督の下、実際の医療現場で基本的な薬剤師としての実践能力を修得することが目的です。又、薬剤師免許を持たない学生が実習を受けるには、実習にふさわしい知識や技術を身につけているかを確認する薬学共用試験※に合格する必要があります。

本学は実務実習事前教育に力を注いでいます。薬学共用試験の合格はもちろんですが、学生が有意義な長期実務実習を行えるよう、現役の薬剤師に指導薬剤師として実習に参加していただき、よりリアルな医療現場を意識した教育体制を整えています。今回は、さまざまな力を結集させた本学ならではの臨床教育の一端を紹介します。

薬剤師へのステップ



※全国薬学部共通の試験で2種類あります。

薬学共用試験

CBT (Computer Based Testing)

知識及び問題解決能力を評価する客観的試験。

OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

技能、態度を評価する客観的臨床能力試験。大学の薬学臨床教育センターを使用し、「患者・来局者応対、薬剤の調製」など臨床能力を評価します。

臨床スキルを磨く 実務実習事前教育

実際の医療現場に近い環境で学ぶ 実務実習事前教育

主な実習



服薬指導

模擬患者とのロールプレイを通じて処方薬の情報提供方法を学ぶ。



疑義照会

処方せんに関する疑義を、根拠を示しながら模擬医師に問い合わせるとともに、良好なコミュニケーションを取る方法を学ぶ。



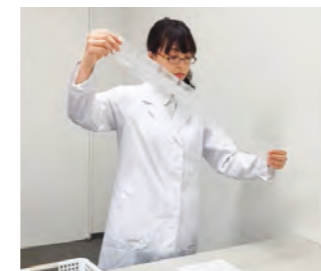
調剤

各種疾患の代表的な処方せんに基づき、その受付から服薬指導にいたる一連の業務を学ぶ。



無菌調製

注射剤・点滴などの無菌製剤を安全に調製するための方法を学ぶ。



調剤鑑査

調剤された薬が処方せんの通りに調剤されていることを確認する。

臨床教育の拠点 薬学臨床教育センター

薬学臨床教育センターには、病院・薬局での長期実務実習に向けた実務実習事前教育や、薬学共用試験OSCE(オスキー)に対応した最新の実習設備があります。学生が実際の医療現場に近い環境の中で学べるよう、現役の薬剤師や、本学が独自に養成している模擬患者の方々にご協力いただき、処方せんの受付や調剤、服薬指導など薬剤師の基本的知識、技能、態度を習得できるよう指導しています。

人の気持ちに寄り添える薬剤師へ

厚生労働省は、病院に行く前の軽い症状のうちにOTC(一般用医薬品)を服用して治療する「セルフメディケーション」を推進しており、薬局を地域のヘルスケア拠点として整備する取り組みを行っています。又、患者の自宅や施設を訪問して服薬指導を行う在宅医療など、多様な医療の在り方から、薬剤師が患者に接する機会や時間も増えています。

病院、調剤薬局、ドラッグストアなど、それぞれの役割は異なりますが、薬剤師は、これまで以上に患者とのコミュニケーション能力が求められるようになります。本学の臨床教育は、コミュニケーション能力を鍛えるとともに、患者に寄り添える「聴く力」のある薬剤師の育成を目指しています。模擬患者とのロールプレイや、患者の背景をつかむ「患者背景マップ」の作成を取り入れることによって、学生は、一人ひとりの患者を思い、向き合う大切さを学んでいます。



患者背景マップ

問診聴取した患者情報をマインドマップ※の手法を用いて「見える化」することにより、患者背景や問題点を広い視野で把握することができる。

※ トニー・ブザンが提唱した思考・発想法のひとつ。頭の中で起こっていることを目に見えるようにした思考ツールのこと。

実務実習事前教育を受けて 学生の声

薬の先には患者さんがいることを実感。薬剤師が人の命にかかわる重要な仕事であることも再認識できました。模擬患者さんとの初回面談でのフィードバックで「一生懸命に話を聞いてくれて胸がキュンとした」と言われたのがうれしかったです。実務実習では平常心で患者さんに接することができるよう努めます。

「患者にとって薬はとても大切なもの。両手で丁寧に扱ってほしい」。模擬患者さんからいただいたこの言葉がいちばん印象に残っています。薬剤を交付することで頭がいっぱいになり、患者さんの気持ちに目を向けられなかったことを反省。患者さんの思いや立場を意識して実務実習に臨みたいで。

指導薬剤師の先生は、実際の薬局で薬剤師がどのように行動しているかを具体的に教えてくださり、良かった点や「もっと良くなる方法」などわかりやすく指導してくださいました。患者さんには積極的な傾聴や共感的な態度、笑顔で接することで安心感を与えると学びました。実務実習は身だしなみにも配慮したいと思います。



SP交流会

学生も参加して、2015年3月11日(水)に、武蔵野美術大学名誉教授 及部 克人先生を講師に迎えて実施しました(写真左:ひもで似顔絵を描こう 右:思い出の布を持ち寄り作る布絵づくり)。自己成長の場になるよう、実習以外でも楽しく学び交流する機会を設けています。



指導薬剤師さんより

熱心に実務実習事前教育を受ける学生がとても多く、指導薬剤師としても合が入ります。学生ならではの視点を感じることもあり、こちらも学ぶことがあります。医療現場では、患者の気持ちを理解するために傾聴することが非常に大切です。指導薬剤師も日頃の経験を生かし、学生の気持ちを感じ取りながら親身になって指導をしています。患者の気持ちをくみ取ることが出来る、患者から信頼される薬剤師になってほしいと願っています。(薬剤師 木村 誠さん)



模擬患者さんより

まじめな学生に感化され、彼らに応えられるよう一生懸命に取り組んでいます。興味から始めたSPですが、今では学生や臨床教育の発展に貢献したいという思いが強くなっています。(60代女性)

設定されたストーリーを覚えるのに苦労しますが、やりがいがあります。ロールプレイ後のフィードバックでは、学生に伝わるよう言葉を選びながら話すこともSPの大切な役割。日々、いいフレーズを探しています。(60代男性)

模擬患者(SP: Simulated Patient)

学生が患者と接する際の態度や技能の教育及びOSCEで患者役を演じ、薬剤師役の学生に「患者の気持ち」を伝える。約10回の講習会を経た上でボランティア役としてご協力いただいています。



薬学臨床教育センター 沼田 千賀子 教授

効果的な臨床薬学教育を実現するために

社会が成熟するとともに、世の中の流れは「質化」する方向に進んでいます。大量生産・大量消費によって、ちまたにはモノがあふれ、人々は、より心や生活が充実することを望むようになるなど、意識が「モノ」から「人(とのかかわり)」にシフトしているといえます。医療においても同様で、中小病院でも高度な検査機器を備えて、的確な診断を下すことができますが、患者対応に関しては不満の声も多く、患者満足度調査でも、「医療スタッフの対応」が不満の上位に見られます。これからの医療は患者背景をしっかり聴取して、一人ひとりに合った処方提案や指導を行うことが大切であり、そのためにはコミュニケーションスキルの習得が重要になってきます。

本学では6年前より模擬患者の養成を始め、より現場に近い環境で服薬指導実習ができるよう取り組んでいます。人の気持ちに寄り添える医療人の育成には、市民感覚でのフィードバックが不可欠であり、学生はそれによって多くの気づきや学びを得て成長することができます。

2015年度からの新薬学教育でも「患者本位の視点」「コミュニケーション能力」の習得が示されました。実務実習事前教育では、これからの社会に望まれる人材育成を目指します。

海外(ボストン)薬学研修報告

アメリカの医療現場で学ぶ 海外派遣プログラム

毎年3月に、昭和ボストン校との連携による海外薬学研修プログラムを実施しています。先進医療の中心地であるボストンの病院や薬局、医薬品開発の研究機関を訪問するほか、提携大学であるマサチューセッツ薬科健康科学大学(MCPHS)で臨床系教員より実務実習について講義を受けたり、学生同士で意見交換を行ったりするなど、海外の薬学教育を知る機会を設けています。本プログラムの今年度の研修内容を紹介します。



昔の手術道具 (MGH 医学博物館)



修了式にて



MCPHSの模擬薬局

2014年度研修日程及び研修内容(訪問先)

- 3月3日(火)**
 - 伊丹空港発(12:00) → ボストン着(17:30)
- 3月4日(水)**
 - 生活面のオリエンテーション/開講式/講義:医療保険について
 - 英会話クラス/Reservoir Tour / Welcome Party
- 3月5日(木)**
 - MCPHS訪問(事前実習の見学、臨床系教員・薬学生とのディスカッション)
 - Dana Farber Cancer Institute訪問(外来化学療法治療室と薬剤部見学)
- 3月6日(金)**
 - City Tour
 - 講義:製薬企業での研究について / 英会話クラス
- 3月7日(土)・3月8日(日)**
 - 自由行動
- 3月9日(月)**
 - 英会話クラス
 - 講義:手術室専任薬剤師の業務について (MGH)
- 3月10日(火)**
 - MGH医学博物館&エーテルドームの見学
 - Christopher's Haven(小児がん専用の外来治療支援施設)訪問
- 3月11日(水)**
 - West Roxbury Pharmacy(地域薬局)訪問(調剤業務の見学と質疑応答)
 - Genzyme(製薬企業)本社訪問
- 3月12日(木)**
 - ボストン美術館の見学
 - 講義:米国留学&レジデントについて
- 3月13日(金)**
 - 英会話クラス/修了式
 - 自由行動/Farewell Party
- 3月14日(土)**
 - ボストン発(13:00) → 伊丹空港着(3/15 20:30)

MCPHS……マサチューセッツ薬科健康科学大学 MGH……マサチューセッツ総合病院
※英会話クラスではボストンの歴史や文化紹介、研修時に必要なマナーなどの研修項目を含む。

参加学生による 現地レポート(ブログ)も好評です



ブログページ

神戸薬科大学 海外薬学研修レポート 🔍 検索



参加者インタビュー

薬剤師としての在り方を考えるきっかけに

私のテーマである「求められる薬剤師像」をより深く考えられると参加しました。訪問したジェンザイムは、希少疾病用医薬品を手掛ける製薬会社。難病の治療薬を開発して、一人でも多くの人を助けたいという企業の姿勢に触れ、医療従事者としての使命感を持ちました。病院やローカルファーマシーの訪問では、現場にいる薬剤師の少なさに驚きました。複数の調剤助手のテクニシャンがいるため、薬剤師は処方解析や調剤監査、服薬指導などに時間を割くことができるのだと、日本との違いを実感。貴重な体験が、さまざまな角度から薬剤師としての在り方を考えるきっかけをくれました。将来の可能性の幅を広げたい方はぜひ参加してほしいと思います。



4年 藤波 智子さん

MCPHSの学生と英語でコミュニケーション! 伝えるよりも聞き取ることが難しかった。リスニング力をもっとつけて、又、話したい!



MCPHSの模擬薬局

日本とアメリカの違いを知った有意義な研修

将来、日本語が不得意な外国人が、日本の薬局を安心して利用できる手伝いをしたいと考えていたことから、そのヒントを得ようと参加。MCPHSでは、実習を見学でき、先生にも学内を案内していただきました。その中で、アメリカの実務実習が6年次に行われ、6カ所の施設を6週間のローテーションで回ることを知りました。自習室を24時間開放して、学生がいつでも勉強できる場を提供していることも知り、学習環境の違いに驚きました。アメリカの薬剤師が、医師と同等の立場で信頼関係を築き、高いプロ意識を持って仕事をしていることにも感銘。研修で刺激を受けたことから、何かを言い訳にせず、自分の道を進んでいきたいと、将来への決意を新たにしました。



5年 箭野 舞さん

MGHの麻酔科レジデントとして活躍する日本人女性のお話を聞いて、自分のやりたいことをやる、その素晴らしさを実感!



MCPHS生によるクリーンベンチ内での無菌調整

海外薬学研修報告

2015年3月3日、3年次生5名、4年次生8名の計13名が伊丹空港よりアメリカに向け出発しました。3月14日までボストン市郊外にある昭和ボストン校に滞在し、マサチューセッツ薬科健康科学大学(MCPHS)、病院、地域薬局、ボランティア施設などを訪問し、施設内を見学。マサチューセッツ総合病院(MGH)に勤務する薬剤師や日本から来た研修医、製薬企業で活躍する日本人研究者から、アメリカにおける薬剤師業務やレジデント制度、医薬品の研究開発に関する貴重な講義を受けました。MCPHSでは3年次生及び5年次生の実習を間近で見学し(一部の学生は実習に参加)、学習ルームや学生寮なども特別に見せていただくほか、インターンや薬学生など同年代の学生とランチミーティングで活発に意見交換を行うことができました。昭和ボストン校内では、訪問に役立つ英会話クラスが開かれ、質問時に大いに役立てていました。ボストン美術館や世界初のエーテル麻酔手術が行われたエーテルドーム、更には隣接するMGHの医学博物館なども訪れ、歴史の一端にも触れてきました。

今年のボストンは三十数年ぶりの大雪で、市中でも1m以上の積雪がありましたが、参加学生の熱意はそれを凌駕するもので、短い期間ではありましたが多大な刺激を受け、帰国してくれました。



田内 義彦 教授

研究室探訪

循環器疾患や生活習慣病を研究対象に、新たな治療薬の開発につながる研究を行っています。

臨床薬学研究室

【スタッフ】江本 憲昭 教授 池田 宏二 准教授 八木 敬子 講師
【学 生】5年:16名 6年:16名



研究テーマは？

循環器疾患や生活習慣病を研究対象としています。疾病に関与する分子を同定・解析し、新たな治療薬の開発につなげることを目標に研究を行っています。

現在取り組んでいる研究内容は？

肥満・メタボリック症候群の発症・進展に脂肪組織の血管の役割が注目されていますが、我々は脂肪組織の血管を制御する新規の遺伝子を見出しました。現在、日本発の肥満・メタボリック症候群治療薬の開発に向けて研究を進めています。又、血管の糖鎖に着目した動脈硬化症の研究にも取り組んでいます。

肺高血圧症は多くが原因不明の難治性の疾患で、根本的な治療法はありません。我々は肺の血管内皮細胞異常が最も重要であると考え、さまざまな遺伝子改変動物を使った実験を行うとともに、神戸大学医学部附属病院循環器内科やインドネシアのガジャマダ大学と共同で臨床研究を行っています。

研究室での学生たちは？

本研究室は3人のスタッフが医師であり、遺伝子レベルでの基礎研究成果を臨床医学・薬学へと展開する研究(トランスレーショナルリサーチ)を実践しています。留学生が在籍する国際色豊かな環境の中、彼らと活発な議論を重ねることにより英語論文をリアルタイムに読み解く力と、海外の研究者とも自在にコミュニケーションできる力を育成しています。



江本 憲昭 教授



外来診療見学

外来診療見学

ゼミ活動の一環として見学。医師の処方意図を学んでいます。医師の視点を知ることで疾患や薬物治療への理解が深まり、薬剤師としていかに医療にかかわるかを考えるきっかけにもなっているようです。

本学には17の薬学専門研究室があります。どのような研究を行っているのかはもちろん、研究室の雰囲気や学生たちが生き生きと学ぶ様子を楽しくお伝えします。

薬の作用機構や医薬品情報の解析により、薬の有効で安全な治療を目指しています。

薬剤学研究室

【スタッフ】岩川 精吾 教授 上田 久美子 講師 細川 美香 助教
【学 生】5年:16名 6年:15名



研究テーマは？

薬は、吸収、分布、代謝、排泄という過程を経て体内を移動します。この動き方は、薬の効果や副作用にかかわってきます。本研究室では、このような薬の体内動態を中心とした薬の作用機構の実験に加え、医薬品情報の解析により、薬の有効で安全な治療を目指しています。

現在取り組んでいる研究内容は？

医薬品開発、医薬品適正使用に関連する臨床研究情報を使用した解析を行い、疾患の治療や予防における医薬品の有効性や安全性について検討しています。又、ワルファリン*と他の薬物、製剤添加物との相互作用について検討し、薬物の薬効の持続化や副作用軽減を目指しています。更に培養細胞や動物を用いて、抗がん剤治療の効果や副作用の個人差について検討しています。

研究室での学生たちは？

研究室は、学生同士で教え合ったり、研究テーマが違っていても、お互いの内容について議論したりと、みんなが活発に意見できる環境です。研究室生活を通じて学生同士のつながりも強くなり、切磋琢磨しながら研究に打ち込んでいます。研究室外でもイベントを企画するなど、オンオフの切り替えを大切に、忙しい中でも充実した日々を過ごしています。学生には、研究テーマについて知識や理解を深めるだけでなく、得られた実験結果を元に考える力や、研究内容をわかりやすく伝えるプレゼンテーション能力を養ってほしいです。

* 抗凝固剤のひとつ



岩川 精吾 教授



2014年は伊勢へ!

学生が企画するゼミ旅行!

毎年行っているゼミ旅行は学生が企画します。道中のバスではおもしろいクイズで盛り上げてくれるなど、楽しい旅行です。

神薬ごよみ

キャンパスカレンダー（学年暦）と併せて、学内の今、そして、これからの取り組みを3つのコンテンツでお届けします。

MANABI白書

半期における各学年の学習や
実習報告をお伝えします。

Event Report

半期の主な学内イベントを
ご報告します。

Information

今後の行事を中心に、
学内外のニュースをお伝えします。

MANABI白書

2014年度 後期の学習報告

1年次

高校までとは違う、自分で答を導く授業が楽しい

和田 昭盛 教授、沖津 貴志 講師の「有機化学」の授業が楽しかったです。高校までの授業とは違うことを実感。与えられた反応式を覚えるのではなく、高校で学んだことをフル活用して反応機構を考えて、ひとつとは限らない答を導くところに興味を引かれました。実習のレポートや宿題など、クラスの仲間間で考えながら取り組むなど、勉強と部活、バイトを両立させることができた1年でした。

新1年次生へ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。神戸薬科大学の大学生活は、自分の想像していたものと違うと思うことがあるかもしれません。それは新たな楽しみが生まれてくるということかも！

2年次になったら、1年次生で学んだ学習内容や学習の仕方を生かしながら、新たなことに挑戦していきたいと思っています。お互いに、素晴らしいキャンパスライフを送りましょう。



2年 柴田 萌美さん

2年次

効率よく時間を使えば、勉強もアルバイトも楽しめる

今年度、特に興味を持って学んだのは、医薬品分析に用いられる代表的な分析法について学ぶ、小林 典裕 教授の「分析化学II」です。ほかの授業においても、教わったことを実習などで実際に体験することができたので、理解も深まっておもしろく学ぶことができました。3年次生になっても、これまでに以上に毎日の授業を大切に、有意義な大学生活を送りたいと思っています。

新2年次生へ

2年次になると、これまで以上に科目数が多くなり専門科目も増えるので、しっかり計画して勉強することをお勧めします。私は2年次になって、わからないことだらけだった1年次のときよりも、実習や勉強、アルバイトなど、全体に効率よく時間を使えるようになり、それぞれを楽しむことができました。



3年 長谷川 華子さん

3年次

一つひとつ、理解を深めながら勉強する大切さを実感

これまでは試験のために勉強していたように思います。3年次になり、少しずつ勉強が難しくなるにつれて、一つひとつ理解しながら学んでいくことの大切さを実感。わからないことは、周りの友達がいつも一緒に考え、教えてくれたので、あきらめずにがんばれた1年間でした。4年次からは、更に専門的な勉強になり、研究室にも配属されるため、今まで以上に気を引き締めなければと思っています。漠然としている将来についても、視野を広げて、自分には何が合っているのかを見つけていきたいです。

新3年次生へ

3年次生になったとき、時間割表を見ただけで、ついていけるか不安になりました。でもそれは周りの友達も同じ気持ち。あきらめないうで取り組み、きっと乗り越えられます。不安は抱え込まず、友達と助け合ってほしい。とにかく授業は必ず出席すること！とは言え、せつかくの大学生活！勉強はもちろん、さまざまなことにも目を向けて楽しい1年にしてください！！



4年 浅沼 真樹さん

4年次

患者さんと接する難しさを学んだ実務実習事前教育

実務実習事前教育の服薬指導実習が印象に残っています。指導薬剤師の先生から、「説明が早口である」「一方的な説明をして患者さんの表情が見えていない」「患者さんのことを理解していない」と指導いただき、患者さんと接する難しさを痛感しました。実務実習の際は、学んだことを思い出して応対したいと思います。新年次は、一生懸命に前向きに研究課題に取り組むとともに、実習時に理解を深められるよう、関連する科目や苦手科目の復習をしたいと考えています。

新4年次生へ

CBTについては科目間のつながりも意識しながら勉強すると良いのではないのでしょうか。OSCEについては、実務実習事前学習以外にも自主的な練習を友達同士で行うと良いと思います。お互いにできていなかったところを確認しながら進めるので、試験に向けての意識も高まります。実際に、事前学習で用いた器具と類似したものを用意して友人と自主練習！服薬指導を練習し合うなど、どんな課題が出てても対応できるようがんばりました。



5年 角 千尋さん

5年次

長期実務実習に参加して

病院実習・薬局実習に参加。臨床現場に立ち、患者さんの目線で見ることの大切さ学びました。高齢者の患者さんと接する機会が多かったことから、理解しやすいように、話すスピードや声の大きさ、振る舞いなどに気を配りながら服薬指導を心がけたため、相手の立場になって考える力が身についたと思います。病院実習後の成果発表会は薬剤師や大学の先生方の前で行いました。その準備を、薬剤師の先生や実習生8人と取り組んだことも、人前で発表したことも、良い経験になりました。

新5年次生へ

実習は、今まで勉強してきたことが臨床でどのように生かされているかを学べます。病院業務も薬局業務のどちらも積極的にいかかり、いろんなことに挑戦してほしいです。実習が終わった後は、きっと成長を感じられるはず。6年次は学生最後の年。悔いのない一年にしたい。勉強、研究、就職活動と大変なことが待っていますが、今まで一緒にがんばってきた大学の仲間との思い出も残したいです。



6年 樋口 裕美さん

学部卒業式・大学院修了式

2015年3月13日(金)、本学にて、平成26年度神戸薬科大学学部卒業式・大学院修了式を挙行いたしました。学部卒業生248人、大学院修了生3人、合わせて251人の皆さん、卒業、修了おめでとうございます。



卒業生からのメッセージ

友達に恵まれた6年間、これからは自分の理想とする薬剤師になるべく精進していきます。



橋本 昂介さん

友達がいてくれたから勉強をがんばれた! みんな、ありがとう!



福島 咲子さん 城月 智帆さん 友藤 由美さん

岡山から通学した3年間。1人暮らしの3年間。家族への感謝でいっぱいです。



出宮 千聖さん 井上 誠子さん

水野先生、木口先生、友達、後輩。みなさんのおかげで卒業できます!



金 祥平さん

宮田先生、北川先生、テキトーな私の面倒を見ていただきありがとうございます。



宇埜 由望奈さん

6年間、勉強に研究にと、めっちゃがんばった!! はず!! 笑



清川 杏里沙さん

後輩へ。自分次第で未来は大きく変わる。常に向上心を持って歩んでください。



村岡 佑梨子さん

いつも元気にしてくれる竹仲先生、ありがとうございます! 最高の学生生活でした!



木村 祐介さん

勉強漬けの6年間が、終わりました。在学生の皆さん、がんばって!



赤根 貴志さん

いつもここがスタートライン! 今この瞬間を大切に!



加藤 由佳さん

Event Report

11月 November

第9回神戸薬科大学 Student CASP Workshop in Kobe

2014年11月16日(日)、EBM(根拠に基づく医療)を学ぶワークショップ「Student CASP workshop in Kobe」を開催。本学生や他大学の医学生のほか、薬剤師や医師など現役の医療従事者と一緒に、想定したシナリオを元に患者の治療の適用についてチームで検討します。臨床研究の論文を読む経験を積み、多職種協働を体験できる機会として2010年から導入しています。



分科会でディスカッション(発表)中の学生

12月 December

薬学共用試験 OSCE 本試験 CBT 本試験

平成26年度、薬学共用試験[OSCE:2014年12月14日(日)・CBT:2015年1月22日(木)・23日(金)]を実施、4年次生が受験しました。試験詳細は本学ホームページに公開しています。

1月 January

2月 February

動物の慰霊祭

2015年2月12日(木)に、学内において実験動物慰霊祭が行われ、学長をはじめ教職員及び学部学生、大学院生が多数参加しました。本慰霊祭は、本学の研究・教育実習に貢献した実験動物への供養と感謝の気持ちを込めて毎年行っています。又、命をより尊重する気持ちを表すため、今年度から本格的に式典形式で行うことになりました。



献花する学生

4月 April

第16回公開市民講座

2015年4月18日(土)、薬用植物園の公開と併せて、6号館ラウンジにおいて、東灘区薬剤師会による「おくすり相談」、東灘消防署救急隊員によるAEDを使用した人命救助講習のほか、健康機器や健康グッズ体験を実施しました。アイグレイ・セラピスト・アカデミーによるハンドマッサージコーナーでは、IPW同好会の学生が緩和ケアなど医療の現場で実践されているものに近いマッサージの施術を行い、来学された皆さんとのコミュニケーションを体験しました。午後からは、神戸学院大学 備酒 伸彦 教授と本学 岩川 精吾 教授による、「加齢」をテーマに介護や薬についての講演を実施して、多くの方に役立つ情報を発信しました。



IPW同好会の学生がハンドマッサージに挑戦



生薬部の学生がハーブコーナーと薬用植物園見学の受付を担当

2014~2015 主なキャンパスカレンダー

2014

- | | | |
|-----|-----|----------------------------------|
| 11月 | 8日 | 桔梗育友会総会・保護者懇談会
保護者のための就職ガイダンス |
| | 10日 | (4年)キャリアガイダンス |
| | 16日 | 地方保護者懇談会 |
| | 22日 | (全学年)キャリアガイダンス |
| | 29日 | カレッジTOEIC® |

12月

- | | | |
|--|--------|-------------------------|
| | 14日 | (4年)薬学共用試験OSCE本試験 |
| | 15日 | (5年)模擬面接・模擬グループディスカッション |
| | 15・16日 | (5年)第4・5・6回就職ガイダンス |

2015

- | | | |
|----|--------|-----------------------|
| 1月 | 7日 | (5年)病院実習・薬局実習開始(Ⅲ・Ⅳ期) |
| | 8日 | 後期定期試験(〜1/21) |
| | 22・23日 | (4年)薬学共用試験CBT本試験 |

2月

- | | | |
|--|--------|---------------|
| | 19日 | 後期追再試験(〜2/27) |
| | 28・31日 | 第100回薬剤師国家試験 |

3月

- | | | |
|--|--------|---------------------------|
| | 1日 | (3・4年)海外薬学研修[ボストン](〜3/13) |
| | 13日 | 学部卒業式・大学院修了式 |
| | 25・26日 | 学内就職フェア |
| | 27日 | 第100回薬剤師国家試験合格発表 |

4月

- | | | |
|--|--------|-------------------------|
| | 2日 | 入学式【裏表紙】 |
| | 6日 | (5年)インターンシップガイダンス |
| | 7日 | 前期開講日 |
| | 9日 | (5年)第1回就職ガイダンス |
| | | (6年)病院ガイダンス |
| | 10日 | (6年)公務員ガイダンス |
| | 13日 | (5年)病院実習・薬局実習開始(i期) |
| | 15日 | (4年)インターンシップガイダンス |
| | 16日 | (6年)第7回就職ガイダンス |
| | 17日 | (6年)模擬面接・模擬グループディスカッション |
| | 18日 | 第16回公開市民講座 |
| | 23・24日 | (6年)模擬面接 |
| | 25日 | (6年)病院実習・薬局実習報告会(Ⅲ・Ⅳ期) |
| | | (4・5年)海外薬学研修報告会 |
| | 27日 | 第83回創立記念日 |

5月

- | | | |
|--|-----------|---------------------|
| | 9日 | 桔梗育友会春季役員会 |
| | 11日 | (5年)病院実習・薬局実習開始(I期) |
| | 23日 | (6年)卒業研究発表会(薬演コース) |
| | 24・30・31日 | 第41回卒後研修講座 |

Information

ホームページをリニューアルしました。

2015年4月1日よりホームページをリニューアルしました。スマートフォンとタブレット、PCそれぞれに対応しており、各機器から見やすいサイトに生まれ変わりました。本学の現在の教学のありようを発信するコンテンツを充実させたほか、受験生向けの情報も強化しました。今後の情報発信にもご期待ください。



スマートフォン

アドレスはそのままです。 <http://www.kobepharma-u.ac.jp/>

2016年度 オープンキャンパスを開催します。

進学説明会や毎年好評の予備校講師による入試問題解説など、本学ならではのプログラムを予定しています。在学生がサポーターとなり、相談コーナーやキャンパス案内で今年もオープンキャンパスを盛り上げてくれます。高校生や保護者の皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

実施内容など、詳細は本学ホームページ入試情報サイトをご確認ください。

実施日程	
第1回目	2015年 8月 1日(土)
第2回目	2015年 8月 2日(日)
第3回目	2015年 8月22日(土)
第4回目	2015年10月 3日(土)

人事・受賞者・寄付金受納

【人事】

●退職

(定年退職)
教授 岡野 登志夫(衛生化学研究室)
主査 山本 正子(事務局 施設課)

(依願退職)

教授 水野 成人(医療薬学研究室)
准教授 津川 尚子(衛生化学研究室)

(期間満了)

非常勤職員(薬剤師レジデント) 山本 亜季

●解職

(大学院薬学研究科主幹の委嘱を解く)
教授 水野 成人

以上2015年3月31日付

●理事長就任

理事 宮武 健次郎

●名誉教授称号授与

神戸薬科大学名誉教授 岡野 登志夫

●採用

特別教授 岡野 登志夫
臨床特命教授 奥川 斉(薬学臨床教育センター)
講師 中島 国美(臨床心理学研究室)
非常勤職員(カウンセラー) 末吉 智咲(学生就職部 学生就職課 学生相談室)
非常勤職員(薬剤師レジデント) 小澤 拓
非常勤職員(薬剤師レジデント) 久保 萌子
非常勤職員(薬剤師レジデント) 土居 襟子

●昇任

講師 河内 正二(薬学臨床教育センター)
講師 竹下 治範(薬学臨床教育センター)
課長補佐 橋本 和歌子(学生就職部 学生就職課)
課長補佐 柳川 貴志(教務部 教務課)
課長補佐 長瀬 恵司(事務局 経理課)
課長補佐 古田 耕治(事務局 施設課)
主査 岩崎 由紀(事務局 総務課)

以上2015年4月1日付

●委嘱

大学院薬学研究科主幹 教授 江本 憲昭
2015年4月1日～2016年3月31日

教授会議長 教授 畑 公也
2015年4月1日～2017年3月31日

舎監 准教授 竹内 敦子
2015年4月1日～2017年3月31日

桔梗友会連絡係 教授 畑 公也
2015年4月1日～2016年3月31日

<受賞・受賞・表彰>

博士1年 志田 美春(生化学講座) 第87回日本生化学会大会若手優秀発表賞 2014年10月17日付
准教授 土反 伸和(生化学研究室) 第20回天然薬物の開発と応用シンポジウム優秀発表賞 2014年11月10日付
博士2年 杉田 翔一(薬品化学講座) 第9回集積型有機合成国際シンポジウムポスター賞 2014年11月15日付
准教授 土反 伸和(生化学研究室) 平成27年度日本農芸化学会奨励賞 2015年 3月26日付
5年 長谷川 真理子(薬品物理化学研究室) 日本薬学会第135年会優秀発表賞 2015年 3月31日付
5年 杉本 理紗(薬品物理化学研究室) 日本薬学会第135年会優秀発表賞 2015年 3月31日付
特別教授 岡野 登志夫 平成27年度兵庫県功労者表彰(教育功労) 2015年 5月 3日付
評議員 西田 英之 平成27年度兵庫県功労者表彰(健康功労) 2015年 5月 3日付
博士2年 志田 美春(生化学講座) 第62回日本生化学会近畿支部例会発表優秀賞 2015年 5月16日付

(学年は受賞日現在を示す)

<寄付金>

同窓会 金一封

<物品寄付>

2014年度卒業生一同 サクラ ソメイヨシノ 1本
故 瀬戸 紀子様(2009年入学者)ご遺族様 サトザクラ シロタエ 1本

神戸薬科大学は、文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業に参画しています

ご挨拶

臨床薬学研究室 教授 江本 憲昭

本学は2012年度から文部科学省が実施する「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業の「地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成」に参画しています。これは、大阪大学を中心に本学を含めた近畿の7大学が相互に連携し、がん専門医療者養成のための教育拠点の構築を目的としたものです。

2013年度から大学院薬学専攻博士課程にがん専門薬剤師基盤育成コースを新設しました。又、卒後研修講座・公開市民講座による卒後教育の充実やシンポジウム・講演会などの開催により情報発信に努めています。

これらの活動により、がん専門薬剤師の基盤育成とチーム医療の連携推進を図り、わが国及び地域のがん医療の向上を目指しています。「がんプロ」の活動にご期待ください。

2015年度の活動

一般向けにも公開し、情報発信のための講演会を開催しています。保護者の皆さんも参加できます。

神戸薬科大学 第7回 がんプロ講演会

テーマ「上手にがんと生きる」

開催日 2015年6月27日(土) 13:30～16:00

場 所 神戸薬科大学 10号館4階

講演者 宮本直治氏(公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院薬剤部 係長)
堀 篤史氏(りんくう出島クリニック 院長)

神戸薬科大学 第8回 がんプロ講演会

テーマ「そこが知りたい 乳がん治療とQOL」

開催日 2015年11月28日(土) 13:30～16:00

場 所 神戸薬科大学 10号館4階

講演者 山神和彦氏(神鋼記念病院 乳腺科科長 兼 乳腺センター センター長)
下妻 晃二郎氏(立命館大学 生命科学部 生命医科学科 教授)

後援活動

がん哲学学校 in 神戸 & メディカル・カフェ

・第3回 開催日 2015年7月27日(月) 13:00～15:30(神戸薬科大学 6号館2階)

・第4回 開催日 2015年9月10日(木) 13:00～15:30(神戸薬科大学 6号館2階)

・第5回 開催日 2016年1月予定 13:00～15:30(神戸薬科大学 6号館2階)

「がん医療薬学特論」の開講

大学院で「がん医療薬学特論」を開講し、がん専門薬剤師となるための基盤を構築しています。がん専門薬剤師として求められる知識・技能・態度を総合的に学ぶことをテーマとし、神戸薬科大学は岩川 精吾 教授、江本 憲昭 教授、沼田 千賀子 教授が8コマの講義を受け持っています。

講義内容

- ①「がんの再発、医療用麻薬の投与」の症例を用いて、「麻薬の投与」をテーマに緩和領域におけるがん患者とのコミュニケーションスキル向上のための「模擬患者」(SP)とのロールプレイに取り組みます。
- ②がん患者へのクオリティ・オブ・ライフ実現のために、多職種の専門家による地域でのサポートについて学習し、薬剤師の役割について理解を深めます。
- ③がん専門薬剤師として、将来、地域・職種間の連携を担うための、多職種協働教育(IPE)の重要性を講義・演習で修得します。

校舎建築のお知らせ

新8号館建築について(予告)

新8号館建築委員会委員長
中山 尋量

今年度から2017年度にかけて旧食堂の8号館を取り壊して、新8号館の建築が行われます。これは、キャンパスリニューアルを兼ねた一連の耐震補強計画のひとつです。

先の阪神淡路大震災で、震災後の耐震基準の見直しと、それに伴う耐震化工事が全国の学校等でも進められています。本学の建物は大きな被害はありませんでしたが、学生のより安全で快適なキャンパスライフ実現のため、新耐震基準に満たない建物の耐震補強工事を順次進めています。現在までに3号館(2008年)、4号館(2010年)、7号館(2014年)の耐震補強、改修を終えており、いよいよ本学のシンボリックな建物である1号館の耐震計画に着手することとなりました。その第一弾として、旧食堂の8号館を取り壊して新8号館(研究棟)を建築し、1号館、2号館にある研究室を移転することが、昨年末の理事会で決定しました。

現在、新8号館建築委員会では、その詳細の検討を始めています。完成図はまだこれからとなりますが、今年度後半くらいから現在の8号館の取り壊しが始まり、2017年度末完成を予定しています。学生の皆さんの学生生活には支障のないように進めていく予定です。ご協力、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



中山 尋量 教授

OKAMOTO MAP

本学の最寄り駅がある岡本は、古くから学生の街として知られていますが、昨今では洗練されたおしゃれな街としても注目されています。そんな街の魅力を教職員や学生が案内する今号のOKAMORO MAPは、今春卒業した学生がよく利用したお店をランキングで紹介。皆さんの知っているお店はいくつランクインしていますか？

レトロな雰囲気
魅力の街です

お店のリサーチは
欠かせません

OKAMOTO Picture



石畳が印象的なファッションエリア「岡本商店街」。カフェやファッションなど、オシャレな店が立ち並ぶ。

伊藤さん 商店街のお店にはクラスや研究室の友人と、大学の帰りにふらっと立ち寄ることが多いです。カフェも多く、レトロな雰囲気があるのが魅力ですね。家族や学外の友人を誘って、一緒にランチを楽しむこともあります。

金さん ランチメニューが豊富なお店が多いので、大学帰りにぶらぶらしながらリサーチしています。ランチタイムに、友人とおいしい食事とおしゃべりを楽しむ時間は最高！学年が上がり忙しくなって、そんな時間も少なくなってきたかな？



6年 伊藤 美咲さん

6年 金 映希さん

神薬大に入学して

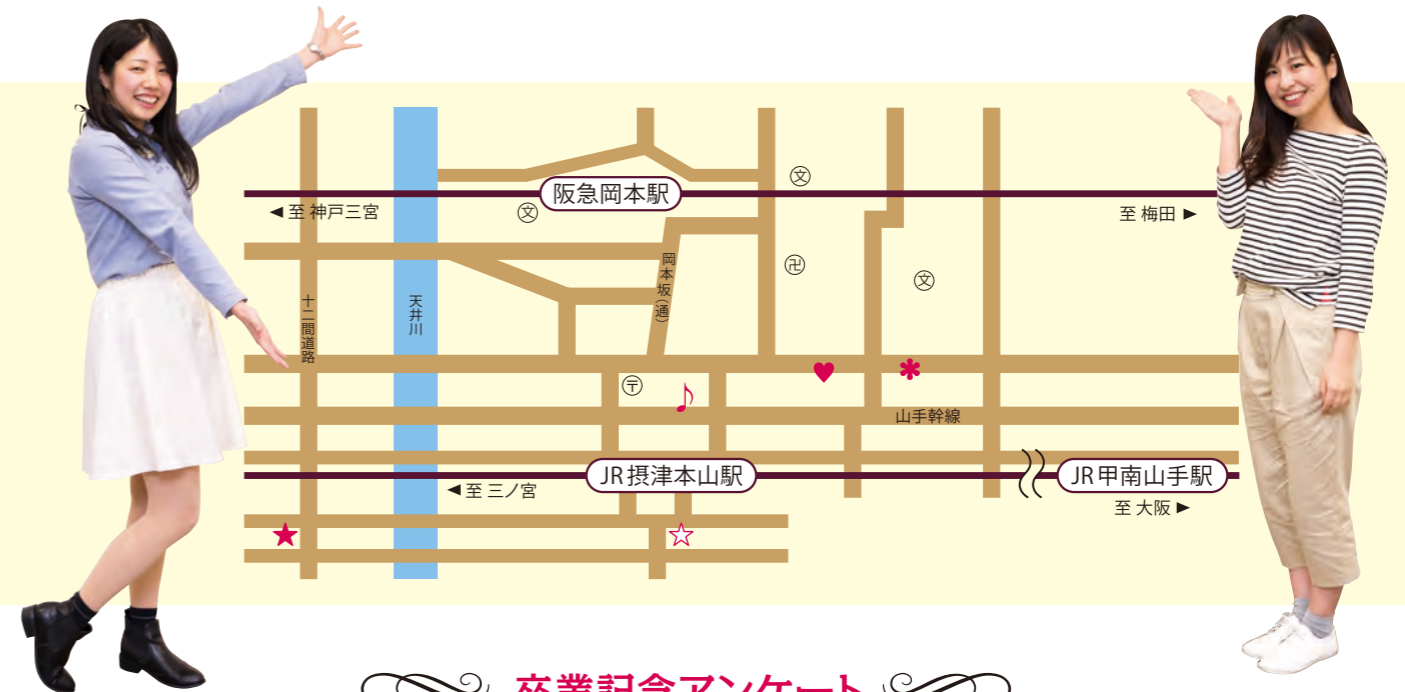
大学生活・勉強について

伊藤さん 元女子大学なので女子ばかりのキャンパスだろうと思っていたのですが、男子も多くて、にぎやかな大学。

金さん 坂道が多い通学路ですが、これも良い運動。勉強に実験、就職活動と、刺激し合いながら楽しい大学生活を送っています。



仲良しグループで学内ランチ



卒業記念アンケート 卒業生が選ぶ 岡本&摂津本山 お気に入りのお店ランキング

この春、卒業した6年次生を対象に、在学時によく利用した、お気に入りのお店を聞きました。新入生は「岡本歩き」の参考にしてみてくださいはいかがですか？



★DECO



♥いしころカフェ



★☆☆シンフォニーナガノ



♪ショコラリパブリック

岡本といえば!! カフェ

- 1 DECO
- 2 スターバックス・コーヒー
- 3 いしころカフェ
- 4 マナーハウス モトヤマ
- 5 カフェ・ド・クリエ

試験前にスタバで勉強しているとほかにも多くの神薬生がいて、ちょっと話することも。みんながんばっているんだと思えてうれしかった。(女子)

いしころカフェの抹茶カフェはおいしいです。一度は食べるべき!(女子)

神戸といえば!! スイーツ

- 1 シンフォニー ナガノ
- 2 ショコラリパブリック
- 3 モンローール
- 4 鳴門鯛焼本舗
- 5 パティスリー グラモウディーズ

ゼミのコンパといえば!! 居酒屋

- 1 坐・和民
- 2 KICHIRI
- 3 えこひいき
- 4 笑笑
- 5 The 甲南ハイボール

男子に人気!

女子ダントツ1位

やっぱり神戸といえば!! パン

- 1 芦屋ローゲンマイヤー
- 2 ケルン
- 3 フロイン堂

女子ダントツ1位

充実した学生生活を送り、自らが主体的に考え行動するクラブ活動は、学年を超え多くの学生との交流を深め、豊かな人間性を身につけることができる場です。「チーム医療」の一員としての自覚を養い、コミュニケーション力を磨くことができる有意義な場でもあります。ほとんどの学生が、勉学に励みながら、クラブ活動にも積極的に参加しています。

陸上部

今年の目標は薬学連盟の大会で総合優勝すること！



薬学連盟大会:開会式、左から2列目が本学(左上)。女子100メートルのスタート(右上)。1500メートル、白のジャージが本学(左下)。400メートルリレー、本学はトップでゴール(右下)。

活動内容

顧問 辰見 明俊 講師 部員 45名

活動日:週2・3回程度、大学周辺や「王子スタジアム」で練習。
試験前の1カ月は試験勉強に集中するためお休み。



部長
3年 浜 有貴さん

明るくて楽しい部員がそろっています。学年を超えてみんな仲が良いところが私たちの強みともいえます。成果を出すためには効果的に自分を追い込む練習が必要。合同練習や自主練習など、各自が掲げる目標に向けて取り組むことで全体の力を高めています。それによって何事にも最後まであきらめない精神力が身につきました。今年の目標は薬学連盟の大会で総合優勝すること。学生時代でしか味わうことができないこの時間を大切にしています。

ひとこと

神戸市立王子スポーツセンター 王子陸上競技場

本学の最寄り駅「岡本」から約7分の阪急「王子公園駅」の目の前にあります。「王子スタジアム」の愛称で呼ばれており、パンダがいる王子動物園が隣接。

戦績・活動報告

関西薬学生対抗陸上競技大会:

男子砲丸投げ 第1位	男子400m×4リレー 第3位
女子走り幅跳び 第1位	女子100m×4リレー 第2位

バドミントン部

文武両道を目指して一生懸命に取り組むアツい仲間たち



6号館の体育館で練習



関西薬学生バドミントン大会で入賞

ユニフォーム



部長
3年 平島 俊亮さん

とても明るく、学年や男女を問わず仲の良いクラブです。文武両道を目指し、勉強、クラブ活動に励んでおり、何事にも一生懸命な人が多いのが特徴です。試合に負けたときは、悔しい気持ちをエネルギーに変えて、厳しい練習を自らに課すこともあります。

他大学の医歯薬バドミントン部との練習試合も多く、交流も深いため、コミュニケーション能力や社会性も身につきます。初心者も大歓迎です。メリハリのある大学生活を一緒に送りたいです。

ひとこと

関西薬学生バドミントン大会

毎年8月に開催。今年は本学が大会の主幹を務めます。大会運営を滞りなく行うこと、個人がベストを尽くして優秀な成績を収められることが目標です。

戦績・活動報告

関西薬学生バドミントン大会:女子ダブルス 準優勝・ベスト4
:女子シングルス ベスト16

関西医歯薬新人戦:男子シングルス ベスト16

活動内容

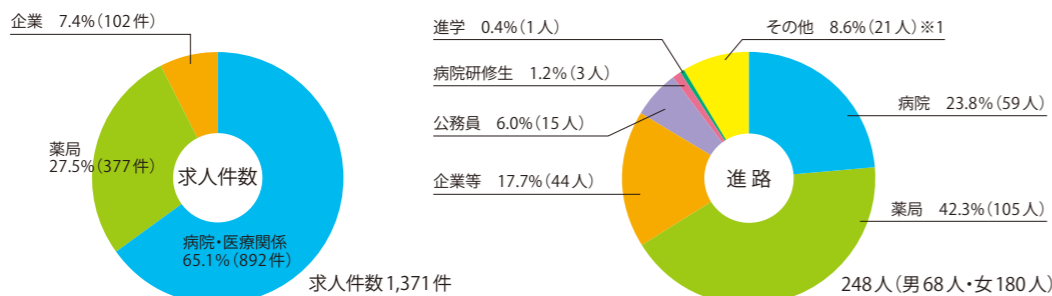
顧問 中山 尋量 教授 部員 50名

活動日:毎週日・水・金曜の17時~20時。春、夏休みは自主練。
試験前の1カ月は試験勉強に集中するためお休み。

Careers Report

2014年度卒業生の就職状況をお知らせします

(2015年5月1日現在)



主な就職先

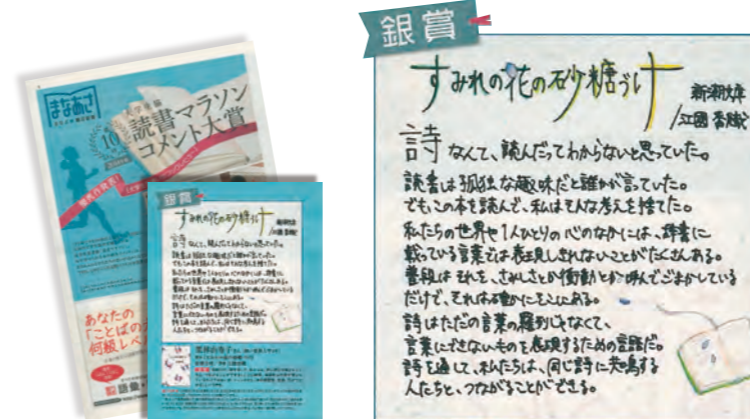
- 【薬剤師(病院)】**
- 社会医療法人 愛仁会
 - 社会医療法人 明石医療センター
 - 特定医療法人中央会 尼崎中央病院
 - 社会医療法人 医真会
 - 大分市医師会立アルメイダ病院
 - 大阪医科大学附属病院
 - 社会福祉法人 大阪明徳病院
 - 一般財団法人 大阪警察病院
 - 国家公務員共済組合連合会 大手前病院
 - 社会医療法人社団正峰会 大山病院
 - 岡山済生会総合病院
 - 総合病院岡山赤十字病院
 - 岡山大学病院
 - 社会医療法人 清仁会 岡山中央病院
 - 北播磨総合医療センター
 - 九州大学医学部附属病院
 - 社会福祉法人 京都社団事業団 京都桂病院
 - 日本赤十字社 京都第二赤十字病院
 - 医療法人 協和会
 - 医療法人 錦秀会
 - 社会医療法人 誠光会 草津総合病院
 - JCHO 久留米総合病院
 - 久留米大学病院
 - 国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院
 - 社会医療法人 弘道会
 - 一般財団法人 甲南会
 - 神戸朝日病院
 - 日本赤十字社 神戸赤十字病院
- 神戸大学医学部附属病院
医療法人社団甲友会 西宮協立脳神経外科病院
JCHO 神戸中央病院
一般財団法人 住友病院
社会医療法人近森会 近森病院
医療法人 三栄会
国立大学法人 徳島大学病院
日本赤十字社 鳥取赤十字病院
兵庫医科大学病院
地方独立行政法人 広島市立病院
藤田保健衛生大学病院
社会医療法人 生員会 ベルランド総合病院
一般財団法人 永頼会 松山市民病院
医療法人社団まほし会 真星病院
三重大学医学部附属病院
倉敷医療生活協同組合 水島協同病院
医療法人社団 倫生会 みどり病院
医療法人社団 祐生会 祐生病院
洛和会ヘルスケアシステム
社会医療法人 黎明会
兵庫県立淡路医療センター
神戸大学・神戸薬科大学薬剤師レジデント
兵庫医科大学病院 薬剤師レジデント
- 【薬局】**
- 株式会社 アイセイ薬局
 - 株式会社 アインファーマシーズ
- 【企業】**
- 株式会社 アカカベ
 - 株式会社 アビスファーマシー
 - 株式会社 アルカ
 - イオンリテール株式会社
 - ウエルシアホールディングスグループ
 - 株式会社 カイセイ 回生堂薬局
 - 株式会社 カネマタ カネマタ薬局
 - クオール株式会社
 - 高知調剤株式会社
 - 株式会社 神戸医薬研究所
 - 株式会社 ココカラファイン ヘルスケア
 - 株式会社 セアラ セアラ薬局
 - 株式会社 サンドラッグ
 - 株式会社 スギ薬局
 - 総合メディカル株式会社
 - 株式会社 大新堂 フタツカ薬局
 - 株式会社 タカラ薬局
 - たんぽぽ薬局株式会社
 - 株式会社 ツルハホールディングス
 - 日本調剤株式会社
 - 株式会社 ハーティオンツ
 - 株式会社 阪神調剤薬局
 - ビックリー株式会社
 - 株式会社 ファーコス
 - 株式会社 ファーマシイ
 - 株式会社 ファーマホールディング
- 【公務員】**
- 大阪府職員
 - 香川県職員
 - 京都市職員
 - 高知県職員
 - 株式会社 スギ薬局
 - 静岡県職員
 - 兵庫県職員
 - 広島県職員
 - 地方独立行政法人 下関市立市民病院
 - 宝塚市立病院
- 【企業等】**
- 株式会社 アスクレップ
 - アルフレッサ株式会社
 - ウシオ電機株式会社
 - エーザイ株式会社
 - 株式会社 MIC メディカル
 - 大塚製薬株式会社
- 【その他】**
- ファーマライズホールディングス株式会社
 - 株式会社 ファルコファーマシーズ
 - 株式会社 フロンティア
 - 株式会社 ぼうしや薬局
 - 株式会社 ボニーファーマシー ボニー薬局
 - 株式会社 マツモトキヨシホールディングス マリニンググループ
 - みとらメディカル株式会社
 - 株式会社 オフテクス
 - グラクソ・スミスクライン株式会社
 - 株式会社 クラブコスメチックス
 - 興和株式会社
 - 小太郎漢方製薬株式会社
 - 劑盛堂薬品株式会社 ホノミ漢方
 - 株式会社 サンキ
 - 塩野義製薬株式会社
 - シミック株式会社
 - 株式会社 新日本科学
 - 株式会社 スズケン
 - 第一三共株式会社
 - 大地化成株式会社
 - 大腸薬品工業株式会社
 - 武田薬品工業株式会社
 - 株式会社 ソムラ
 - 東洋製薬化成株式会社
 - 鳥居薬品株式会社
 - 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター
 - 日本臓器製薬株式会社
 - 日本ペーリンガー・インゲルハ임株式会社
 - バイエル薬品株式会社
 - バクセル・インターナショナル株式会社
 - 株式会社 ビーブランド・メディコ・デンタル
 - 藤本製薬株式会社
 - 株式会社 メディサイエンスプランニング

大学生協主催「第10回読書マラソンコメント大賞」銀賞受賞!

「大学在学中に本を100冊以上読もう!」を目標に、全国大学生生活協同組合連合会が実施している読書推進運動「読書マラソン」。全国の学生が書いたブックレビューから、著名人や生協職員、現役の大学生などが独自の視点で選ぶ「読書マラソンコメント大賞」に、応募総数6,015点の中から、『すみれの花の砂糖づけ』(江國香織著)のブックレビューを書いた4年次生(当時)の栗林由布子さんが銀賞に選ばれました。



5年 栗林由布子さん



このような賞をいただけるとは想像もしていなかったの、とても驚きました。「本」にはさまざまなジャンルがあり、それぞれのおもしろさがあります。学生が、学んでいる分野とはまったく違うことを知るためには、読書は最適なツールのひとつ。広い視野を持った薬剤師を目指して、これからも勉強に読書にと、精一杯がんばります。

第100回薬剤師国家試験報告

2015年2月28日(土)、3月1日(日)に行われた
薬剤師国家試験結果を報告します。

	受験者数	合格者数	合格率
本学	338名	235名	69.53%
本学新卒	248名	180名	72.58%
全国	14,316名	9,044名	63.17%

2014年度後期 学生の受賞・表彰

学会や研究会などで研究成果を発表し、受賞を果たした学生を紹介します。



おめでとうございます

博士課程2年 志田 美春さん(生化学講座)

第87回日本生化学会大会若手優秀発表賞

受賞タイトル.....

「コンドロイチン硫酸の発現により制御される軟骨分化過程の解析」

第62回日本生化学会近畿支部例会発表優秀賞

受賞タイトル.....

「コンドロイチン硫酸鎖の発現制御による初期軟骨分化過程の制御機構の解析」



おめでとうございます

博士課程2年 杉田 翔一さん(薬品化学講座)

第9回集積型有機合成国際シンポジウムポスター賞

受賞タイトル.....

"Synthesis of N-bridged heterocycles via Au-catalyzed cyclization-cycloaddition reaction of α -alkynyl oxime ether"



おめでとうございます

5年 長谷川 真理子さん(薬品物理化学研究室)

日本薬学会第135年会 優秀発表賞(ポスター)

受賞タイトル.....

「アポE由来ペプチドを基盤とする脂質ナノディスクの腫瘍細胞への集積性評価」



おめでとうございます

5年 杉本 理紗さん(薬品物理化学研究室)

日本薬学会第135年会 優秀発表賞(ポスター)

受賞タイトル.....

「NAD(P)H:quinone oxidoreductase 1 (NQO1) 標的放射線薬剤 一安定性の向上を目指した電子供与基の導入」

活躍する卒業生



医療法人 藤井会
石切生喜病院 薬剤部

辻本 麻里さん 2014年3月卒

患者さんの症例と心に向き合う薬剤師を目指して奮闘中!

「幅広い症例を経験できて多様な薬に触れられる病院薬剤師になりたい」。その思いを学生就職部の方に相談したことがきっかけで当院に就職しました。当初は、大学で学んだことがどのように生きてくるのか不安でしたが、薬剤師として経験を積むことでわかってくるのだと実感しました。目標は病棟で服薬指導できるようになること。先輩のように患者さんの心情を理解しながら応対するスキルを身につけ、一人の患者さんの症例と心に向き合いながら、薬剤師としての経験を深めていきたいと思っています。

先輩へメッセージ

勉強▶薬の勉強はもちろん「病気」もしっかり勉強してください。現場に出ると臨床知識の大切さを身をもって知ることになります。**コミュニケーション能力**▶クラブ活動やバイトなどで能力に長けている人の行動を見るだけでも勉強になります。**就職活動**▶気になる先に見学に行ったり、先輩の話を聞いたりするなど積極的に行動してください。学生就職部に相談することで進路が見つかるかもしれませんよ。**国家試験**▶勉強は早めに!試験前はナーバスになりがち。じつは、試験前夜に心細くなって泊まっていたホテルまで母に来てもらったほど。試験勉強中のわがままを黙って受け止めてくれた両親に感謝しています。

在学学生も卒業生も、薬剤師を徹底サポート

「薬剤師」を鍛える

生涯研修支援が充実 エクステンションセンター

本学は、公益法人薬剤師認定制度認証機構から西日本の薬系大学では初めて「生涯研修プロバイダー」として認証(G07)されました。

医療の高度化と社会情勢の変化に伴って、薬剤師は、チーム医療の中の薬の専門家として、今後ますます活躍が期待されています。

日進月歩の医療分野では、卒後実社会で働く薬剤師は、時代に即応した医療レベルに継続的に応えていく必要があります。

このような社会的要請に応えるために、本学ではエクステンションセンターを設立しています。

エクステンション(公開教育)事業の実施

主な研修講座

- ◇ 卒後研修講座
- ◇ リカレントセミナー
- ◇ 健康食品講座
- ◇ 薬剤師実践塾



卒後研修講座



リカレントセミナー

本学の研修事業は多岐にわたりますが、上記の4つの事業を主な柱として毎回テーマを変えて行っています。それに加えて先進的な話題を取り上げたシンポジウムも行っています。

エクステンションセンターで実施している研修プログラムは学生も受講できます。

学年に関係なく、興味のあるテーマであれば遠慮なく参加してください。又、4年次～6年次を対象に専門教育科目(選択科目)として1単位を認定します。

エクステンションセンターでは、常に学部学生に研修会への参加を呼びかけています。単位取得にかかわらず、先輩薬剤師と一緒に各プログラムを受講することは、医療へのかかわり方についてなど、少しでも理解を深めることにつながり、将来の薬剤師像を描く良い機会になると思います。

学部学生も
受講可能です

NOTICE

2015年度前半 主な生涯研修支援プログラム

講座名	開催日	テーマ
第8回 シンポジウム	6/14(日)	呼吸器疾患における吸入指導について 一地域における呼吸器ネットワーク
第68回 リカレントセミナー	6/28(日)	「在宅医療」研修 痛みの治療
第31回 薬剤師実践塾	7/11(土)・7/12(日)	「在宅医療」研修 患者さんとの関わり、他職種との連携・協働のための問題解決ワークショップ ー現場の問題を心理的&論理的に解決してみようー
第14回 健康食品講座	7/26(日)	健康食品に関する最近の話題と製品情報
第69回 リカレントセミナー	9/27(日)	睡眠障害
第70回 リカレントセミナー	10/18(日)	薬剤師のためのコーチング ーコーチングスキルを用いて患者さんとのコミュニケーション力をアップしようー

プログラム詳細は本学「エクステンションセンター」ホームページをご確認ください。

HYOUSHI TANBOU

表紙探訪

食堂 HARUCA (6号館)

神戸市街が一望できる空間で 食生活から学生の健康をサポート

食堂 HARUCAは、2013年3月に竣工した「80周年記念館(6号館)」にあります。カレー・麺・丼などベーシックなメニューに加え、栄養のバランスを考慮した企画メニューを充実させて、バラエティ豊かな食事を提供しています。又、安心・安全な食材の使用、カロリーや栄養価を表示するなど、食生活から学生の健康を支えています。

4・5・11号館、いずれの建物からも行きやすく、ホール内の階段でつながっている2階のラウンジと合わせて、十分な座席数を確保しているため、学生は、広々とした空間の中、ゆっくりと食事を楽んでいます。



定食などの定番メニューに加え、量り売りの惣菜バーや企画フェアなど、2013年のリニューアル後は、今までの食堂にはなかったさまざまな趣向を取り入れています。「ご意見箱」を設置して、学生の要望に応えられるように努めています。



生協の食事やお弁当などの購入にのみ使用できる「ミールプリペイドカード」で支払いをする学生が増えています。



海が見える眺めの良いテラスやソファコーナーがある憩いのスペース。個人やグループで勉強する学生の姿も見られます。

ききょう便り



21世紀の医療を担う薬のスペシャリストの養成

近年、医療における薬剤師の役割も大きく変化しつつあります。この変化に対応すべく6年制薬学教育の基本となる薬学教育モデル・コアカリキュラムが改定され、それを基盤とした新カリキュラムが本年度の1年次生から適用されています。早い段階での臨床現場での体験と患者コミュニケーション教育が重視されるとともに、地域医療をはじめとして医療薬学のより充実した内容となっています。又、将来の進路も見据えた選択科目を設定するなど本学のカリキュラムの特色を打ち出しています。5年次の実務実習も平成31年度からは、病院実習と薬局実習とが連続して行われる形式となり、主要8疾患についての学修など、内容の濃いものとなります。薬剤師国家試験も考える力を試す問題へと変わって来ており、厳しさを増しています。大学での学修は、教科書を読み返したり、参考書で調べたりしながら自分自身で考えることが重要になります。薬のスペシャリストにふさわしい知識、態度、技能を身につけるため、学生の皆さんの積極的な学修を望みます。

本学は、これまでキャンパス整備を進めてきましたが、その総仕上げが本年度から始まります。これは、老朽化し、耐震工事の必要な1、2号館等の整備に絡むものです。今年度は旧食堂8号館を解体し、その後に1、2号館にある、8つの研究室を集めた新8号館を建設するための設計を行います。完成は平成29年の予定です。

今後ともカリキュラムの充実を図るとともに学生の学びを支える環境を整え、21世紀の医療を担う薬のスペシャリストの養成に力を注いでいきますので、よろしくお願い致します。



北河 修治 学長

～人と出会う・学びと出会う～



入学式
2015年4月2日(木)

2015年度学部入学生 …………… 男子:82名 女子:194名